



昇りゆく朝日を表し
希望と喜びの願いが
こめられている

ほほえみ

創刊号 2002年4月



■高森寮デイサービスセンター全景



目次

- p1 …… デイサービスの開始にあたって/ご挨拶
- p2 …… デイサービスセンターオープン
- p3 …… 高森寮って何??
- p4 …… 職員の声
- p5・6 …… 暮らしとしごと
- p7・8 …… こんにちは高森寮さ〜ん
- p9 …… ほほえみコーナー

知的障害者デイサービスの開始にあたって

高森町長 今村博信

四月二日高森寮内に、知的障害者デイサービスセンターがオープンし事業開始されることに對し、南阿蘇六ヶ町村として心からお祝い申し上げます。知的障害者デイサービス事業は、地域において就労が困難な在宅の知的障害者が通所して文化的活動、機能訓練等を行うことにより、その自立を図るとともに生きがいを高めること等を目的としています。

今回、高森寮内で事業開始されることにより、各町村におられる在宅の障害者の方々に對して、入浴サービス、給食サービス等を実施することにより、知的障害者の自立と社会参加を促進し、知的障害者福祉の増進を図っていくと確信するものであります。高森寮デイサービスセンターが南阿蘇六ヶ町村知的障害者の皆さんの生活の場、交流の場として、自由に気楽に利用されることを期待するものであります。

蘇陽町長 後藤 恵喜
 白水村長 桐原 夏雄
 久木野村長 飯法師 一幸
 長陽村長 今村 輝昭
 西原村長 加藤 義明

ご挨拶



社会福祉法人立正福祉会
 理事長 池上 尊義

四月二日、立正福祉会高森寮に知的障害者小規模デイサービスセンターが開設のはこびとなりました。このセンターは南阿蘇六ヶ町村を実施主体として立正福祉会が運営に当たるものであります。

こうしたデイサービスセンターは老人福祉の分野では幅広く開設運営されていますが、いろいろな障害者の分野では極めて立ち後れているのが実状であります。ことに知的障害者の在宅介護には様々な社会的無理解や、それによって生じた言われ無き偏見や差別が依然として払拭されていません。従ってそうした環境の中で障害者自身に對する適切な生活支援や自立を促す支援体制が地域の中に十分に整備されていないのが実状であります。また介護に当たる家族の方々も重荷を背負った日々を

ご挨拶



社会福祉法人立正福祉会
 高森寮長 手島 清士

高森寮は昭和五十二年四月、知的な障害をもったお子さんを育てている親御さんの心情に思いを寄せ、障害者が安心して生活できる場所の必要性を痛感し創設された施設です。今年で二十六年目を迎え、買物・食事・理容など自由に高森町に出掛ける風景が日常として保障される時代になりました。この間福祉に

送っておられます。こうした在宅の障害者や家族の方々の問題を少しでも取り除くことを目的としてこのたび開設に至った次第であります。

具体的には在宅の障害者の家族の介護負担の軽減、障害者本人の望ましい生活の保障、福祉や療育に関する相談や情報の提供等を主たる業務として行っております。文化活動や機能訓練等を通じて障害者の自立を図り、生き甲斐を高めて行きたいと考えています。

家庭で生活をされている障害者の方、その保護者の方のご利用をお待ちしています。このデイサービスセンターが少しでも地域社会のお役に立ち、知的障害者の方々の自立のお手伝いが出来、またそのご家族の介護の軽減に資することが出来たらセンター運営に当たる高森寮の職員にとりましてこの上ない喜びであります。南阿蘇六ヶ町村の皆様のご理解と暖かいご支援をお願いする次第であります。立正福祉会二回一丸となってデイサービスセンターの運営と事業内容の充実に努力してまいります。携わる者として高森寮の歴史を振り返りますとまさに万感の思いがあります。これもひとえに地域の方々の支えがあつてこそできることであり、皆様の善意に心より感謝申し上げます。

今日の福祉理念は施設が生活の場であった時代から、地域や家族で生活する在宅福祉へと向かっています。その意味でデイサービスセンターの果たす役割は、誠に大きいものがあります。事業主体である六ヶ町村のご努力に敬意を表しますと共に、地域の皆様のご利用を切に願っています。

南阿蘇に待望の

『デイサービスセンターオープン』

心身障害者在宅支援の拠点施設「高森寮デイサービスセンター」が完成、サービスを始めました。

この事業は地域において就労が困難な知的障害者の方が、通所して文化的活動や機能訓練等を行うことによりその自立を図るとともに、生きがいを高めること



■食堂



■浴室

によって住み慣れた地域で安心して生活ができるよう支援する事業です。御家族の介護負担の軽減にも役立つものと思っております。

福祉サービスの情報の収集や福祉相談の場としても御利用ください。

基本サービス

- 文化的活動（スポーツ、手芸、陶芸、木工、地域活動等の技術援助及び作業）
- 機能訓練（日常生活動作、家事訓練等）
- 社会適応訓練（会話、フープロ、生活マネー等）
- 介護方法の指導（家族及びボランティア等に対する介護、生活援助方法の指導）
- その他 在宅の障害者の福祉向上を図るために必要な事業

● 四月一日サービス開始 ●

- 入浴サービス…利用される日に入浴ができます。
 - 給食サービス…利用される日の昼食を提供します。
 - 送迎サービス…利用される日に自宅まで送迎を行います。
 - 利用人員…一日当たり八名まで
 - 利用対象…南阿蘇六ヶ町村に居住されている知的障害者（十八歳以上の方）
 - 利用期間…月曜日から金曜日まで（土曜日、日曜日、祝日はお休みです）
 - 利用料金…一日 五百円（入浴料…五十円、給食料…四百五十円）
 - サービス開始 平成十四年四月一日
- ### デイサービスセンターの概要

- 名称 高森寮デイサービスセンター
- 所在地 阿蘇郡高森町色見八三三 TEL(09676)2-00367
- 敷地面積 二、〇四六・三平方メートル
- 建物構造 鉄筋コンクリート造平屋建
- 建物面積 三三八・二平方メートル 床面積 三二二平方メートル

※デイサービスを希望される方は、各町村役場福祉担当課又は高森寮にお問い合わせのうえ、利用申し込みを行ってください。

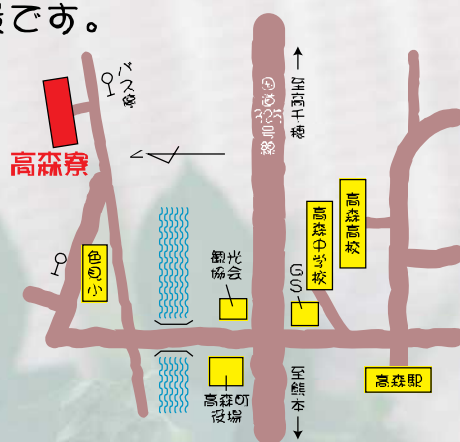
高森寮って何???

みんな何してるの?

昼間は養鶏・園芸・掃除・農作業・洗濯などの仕事をしています。仕事の後はそれぞれ自分の時間を自由に過ごしています。休みの日には美容院、買い物、喫茶など外出も楽しんでいきます。

どんなところ?

南阿蘇!!根子岳のふもとにある知的な障害を持っている人たちが生活している施設です。



いつでも誰でも行けるの?

いつでも大歓迎です!!これまでも近くの小・中学生やボランティアの方々などが、お見えになっています。最初は戸惑う方もいらっしゃるかもしれませんが、帰る頃には「また来ま～あ。」と言って下さいます。10月にはふくし祭りもあいまあよ。せひ!!お越し下さい。

どんな人が利用してるの?

色々な原因で脳に障害をもっていて、家庭での生活を続けるのが困難な人と、50名の方が利用しています。(阿蘇郡内からの利用者26名)

※高森寮の利用方法、手続き等は高森寮又は各町村役場福祉係へお問い合わせ下さい!!

職員の声

「高森寮に勤めて」 指導員 片山 浩美

縁あって高森寮に就職して早や20年目を迎えました。仕事面でも寮の変遷と共に自分の仕事に対する姿勢、取り組み等も大きく変わって来ました。ただ何事に対しても理解力に乏しく自分のものにするのに時間を要し、いつも周りに助けられて今日迄来ました。

皆さんが望まれている事は何なのか？地域生活に少しでも近付けるには、どういう支援をしたら良いのか？という観点で仕事をしていますが、利用者の皆さんにしてみれば、まだ々といった所でしょうが、それぞれに目的を持って遅く生活されていらっしゃる姿を見て私の方が色々勉強させられます。

私は仕事が終われば家に帰り家族との団欒を楽しみ心身共にゆっくり出来ます。でも利用者の方は他人との生活で私には到底計り知れない想いを抱いていらっしゃると思います。寮での生活の中で一人ひとりの方が、それぞれの生活の在り方を保障し、豊かな生活が出来るよう、又自分を大切にしていけるよう、支援(仕事)が出来ればと思います。



「私の思い」 指導員 堀 かおる

この仕事を始めて半年以上が過ぎました。やっというんな事が理解できるようになってきた所です。高森寮で仕事をしていて“笑顔”のすばらしさに改めて気付かされたように思います。障害の程度は様々で、言葉が話せる方話せない方、体の自由な方不自由な方等、いろいろな方達がいらっしゃいます。時々、自分の思いをうまく伝えられないために、興奮したりする方もいて困ってしまったり苦勞したりする事もあります。時には、仕事以外での悩みもあり、気持ちが沈んでいる時もあります。けれど、そんな時に利用者の方達の“笑顔”を見るだけで自分も“笑顔”になり、がんばろうと元気付けられたりします。気持ちの不安定な方や顔の表情がいつも硬い方等の“笑顔”は特にうれしいです。

私の願いは、もっと地域の中に出て、高森寮の存在や取り組みを知ってもらい健常者と障害者が支え合っていける社会になってほしいという事です。



「オーマイ・ゴッド」 栄養士 藤田 のい子

高森寮での食事は利用者も職員も一緒に食堂で食事を摂ります。ある時、私はNさんの食べているテーブルに座り食べ始めました。すると外線電話が入ったとの館内放送があり、お盆に乗った料理をNさんから遠ざけて電話に出ました。用件を済ませて席にもどり食べようと思ったら「無い!!」私の大好物でメインの主菜のおかずが皿から消えています。「なんで？」と思いNさんを見ると口がモグモグ動いているではないですか。「まさか!!」手をみたらソースが付いています~!!そうです、素手で私の大好物のおかずをうばいさって食べている最中です。「オーマイ・ゴッド」思わず本気で「返してよ~」と彼女の口に手をおしあてている私です。Nさん「食べ物の恨みは恐ろしいのです。」今度その仕返しを違った形で返してあげます…。「お覚悟めされ~」なんちゃって。

こんな楽しい(!?)毎日を送って仕事に励んでいる私たち職員です。皆さんも遊びに来てみませんか？



くらしと農業

養鶏作業

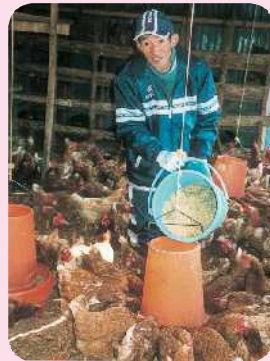
現在、約十数人の利用者が養鶏作業に携わっています。下記の作業の他に、肥出し、卵拭き、カンナクズ取り、発酵飼料作り等を行っています。



- 産卵用（イサブラウン）……………1,570羽
- 食肉用（阿蘇色見鶏）……………630羽

えさやり 北野 広さん

毎日、若鶏と親鶏には三回に分けてえさを与えています。毎回、鶏が食べ残している量をチェックしたり、全ての鶏にまんべんなく行きわたる様にえさを振り分けなければならないので、大変な仕事です。



Q、あなたの仕事を教えてください。

A、えさやり。

Q、仕事はどうですか？

A、たのしい。

卵集め 村上 誠さん

毎日、四回卵集めをしています。毎回、卵を丁寧に扱う事を心がけて、仕事に取り組んでいます。卵を鶏の近くから取る時、カゴに入れる時などは、本当に気を使います。



Q、あなたの仕事を教えてください。

A、卵集めをしています。

Q、仕事はどうですか？

A、嫌いです。

Q、どういう所が嫌いなのですか？

A、卵が割れるところが嫌いです。

えさ作り 後藤 今朝雄さん 黒田 満浩さん

毎日、鶏の状態を見ながらえさの量とか中味を変えたり、色々考えながらえさ作りに取り組んでいます。毎回、自分達で工夫しています。

Q、あなたの仕事を教えてください。

A、えさ作っています。

Q、仕事はどうですか？

A、面倒くさいけど楽しい。



バケツ洗い 大久保 ゆりさん

今の時期（二月）は、手ぶくろをしていても水が冷たく、手の感覚がなくなる事もしばしばです。でも鶏が毎日きれいな水を飲む為にも欠かせない仕事なので一生懸命取り組んでいます。

Q、あなたの仕事を教えてください。

A、バケツ洗い。

Q、仕事はどうですか？

A、手が冷たい…。部屋の中がいい。



卵の計量 井上 千恵美さん

今の時期（二月）の卵の量は、そんなに多くありませんが、夏場になると産卵量も増えて、二日に八百個以上計量しなければなりません。一個一個汚れ、割れをチェックしなければならぬので神経を使います。

Q、あなたの仕事を教えてください。

A、卵の重さを計っています。

Q、仕事はどうですか？

A、楽しいです。

Q、どういう所が楽しいのですか？

A、はかりにのせると大きい卵と小さい卵がわかるから楽しいです。



おでかけ

週一回の半日休を利用して、町内へ買い物や散髪などに出かけています。時には、菊池や大津町まで行くこともあります。高森寮の車や寮の前を通る定期バスを利用しての外出ですが、バスの中でも、お店の中でも、困った時には、地域の方々に手伝いをお願いしています。



町の本屋さん
「今日は東京の本を買おうかな。」
興梠 増祝さん



アスカにて喫茶中!
「ここの万十はうまかばーい!」



アスカ店内
「今、ハンドタオルを選んでます。」
氏家 彰さん

出かける回数が増えることで、地域の方々からも声をかけられることが多くなりました。
「次の半休には、温泉に行こう。」
「あれを買おう。」と、仕事をしながら考えるのも楽しみの一つです。



床屋さんで散髪中
「やっぱ気持ちよかー」
緒方 光雄さん



大分の九重花公園にて
ボランティアの方と一緒に、森さん(中央)嬉しそう!!



バスハイキングで大分の七つ森古墳に立ち寄りハイ、ポーズ。彼岸花が満開でした

他に二ヶ月に二回の割合で終日外出があります。少人数のグループで買い物やカラオケ、映画等に出かけています。また、バスハイキングもあり、バスを二台貸し切つて、いろんな観光名所やその季節にしか出来ない紅葉狩り、みかん狩りに出かけてきました。ここ最近では、地域のボランティア協会の方々も一緒に参加して頂いたりしています。



さ〜ん♡

☀️ 笑顔の届け物

ディアートハウス(喫茶店) 伊藤 絵里さん

皆さん、何時も元気な笑顔有難うございます。こちらに来て5年のお付き合いです。最初の頃は清美さんが時々一人で来られました。コーヒーに沢山の砂糖を入れ帰られた後、カップに砂糖の固まりが残っていました。元気でおしゃべりも沢山していきます。美容院の事、新しいバッグの事、やっぱり女の子の話題はファッションかな？

玉子を週2回頂いています。私の焼くケーキは全部これを使っています。朝、店の準備をしていると、バタンバタンという車の音と共に玉子が届きます。ピー(我が家で飼っているゴールデンレトリバー)が出迎えます。雨でピーがいないと、いつも配達に来ている黒田さんも寂しそうです。家の中から出すと、キスをしてお互いに満足して帰って行きます。ピーも職員の方だけだとシッポは振っても寂しそうです。こんなにリズムがこれからも続くと楽しいですね。

玉子を売るという仕事の時も、町の一員としてお客様として来られる時も、やっぱり笑顔がステキですよ。皆さん!!



☀️ パワーをくれる皆さん!!

髪々ハウス 佐藤 満知子さん

個性あふれる皆さん、そう思ったのが私達の第一印象でした。いつも元気いっぱい挨拶でお店の中に入ってきて、挨拶ひとつでも、それぞれ違った言葉、表現の仕方です。言葉にして口に出す事が出来なくても話しをしてる事は理解できる様で、時には私達の会話を聞き、笑ってる人もいます。何かが伝わっているのでしょうか？

利用者の方々は、私達に色々な話しをしてくれます。好きな人の事を一生懸命話す人もいれば、機嫌が悪く一言も口を聞いてくれない人もいます。皆さんは、その日の機嫌や気分で、感情がすごく左右されます。そんな表現の現れも私達の楽しみです。

長年つき合って、利用者の方とのふれあい、今では心と心の会話も出来る様になったように思います。特に星野さんは一番いい例です。来店当時は、店の中に入る事もできず、店先でカットした時もありました。今ではセット面に座り、カットさせてくれる様になりました。一番嬉しい事ですね。少しずつ進歩を見せてくれる、そんな皆さんが、私達は大好きです。

これからも、私達がいっぱいの元気や勇気、パワーを皆さんにわけてもらう、そんな気がします。



地域の皆さんの声

こんにちは高森寮

❁ 高森寮は不思議なところ!

高森町観光協会 中村 節子さん



高森寮のふくしまつりに参加させて頂いてから5～6年程になります。最初の頃はどのような施設なのか全くわからず参加していましたが、食有り、体験有り、人形劇有り、バザー有りなど種々なバラエティーに富み、小さな子供からお年寄りの方々までとても楽しく不思議なパワーを得られ、とっても得をした気分させてくれるイベントだな!と感じていました。毎回同じ感じ方をするので、この不思議さは何かなと思ひ、施設の様子を拝見してみると、利用者、職員の方々がいつもニコニコと皆で楽しそうに動いてらっしゃいました。“これだ”と思いました。いつもニコニコ前向きの姿勢ですが、無理をすることなく前に進むこと、これらが周囲に楽しさとパワーを与えて下さる源でした。とても良いことを教わりました。良いことは真似でもしようと思ひますがなかなか真似が出来るものでは無い様です。又一生懸命育ててらっしゃる鶏の有精卵は毎日、生命の源として食しパワフルな日々を送らせて頂いてます。有難うございます。

❁ 地域の中の高森寮

徳丸漬物 徳丸 和也さん

高森寮さんにお世話になる様になったのは、創立当初からで、かれこれ、24年くらいになるかと思ひます。ずっと変わらずお付き合いしていただいております。毎年ふくしまつり等にご案内いただき、出店させて頂いている中で最近特に思うのは、すっかり地域にとけ込んでいるなあという事です。新聞折込み等での呼びかけで、毎年訪れる人は増えているようです。プログラムや催し物も、どんな世代の方々にも楽しめる内容であり、何よりも寮生の方々や職員の方々の表情がイキイキしているのが、とても印象的です。子供達も小さい頃から、寮でふれ合える機会がたくさんあり、身近に寮がある事が子供達の将来に、きっと良い影響を与えると思ひます。

今回、広報紙を年2回発行されるとの事、とても楽しみにしています。今後も、いろいろお世話になりながら、何か少しでもお手伝いが出来たらと考えています。



苦情解決委員決まる!!

苦情処理解決責任者 寮長

第三者委員 見玉 邦男・山室 宗敬・波辺 民雄

苦情解決までの流れ

高森寮利用者の方が、生活の中で困ったことや不満に思うことなどを苦情受付担当に相談する。

苦情受付担当 片山 浩美

解決しなかった場合

- 第三者委員を交えて話し合う。
- 熊本福祉サービス運営適正化委員会に申し出ることができます。

高森寮と話し合う



春崎 末子さん

昭和20年1月24日生 八代市出身 57才

この笑顔、みかん狩りに行った時です。何か幸せ!!

ほほえみコーナー
利用者のいい顔を紹介します!!

南阿蘇の皆さんへ

『在宅支援のお知らせ』

高森寮が備えている人的(マンパワー)、物的(施設)資源を南阿蘇圏域に居住されている心身障害者の皆さんにも利用していただき、生まれ育った地域で安心して生活できるようデイサービス以外にも在宅サービスを行っています。是非ご利用ください。

■心身障害者巡回療育相談等事業

この事業は家庭で生活されている心身に障害のある方や、その方を介護されている保護者に障害に関する情報の提供や各種の相談に応じるとともに、家庭療育に関する助言等を行うことにより、安心して地域で生活できるよう支援する事業です。このような事でも結構です。お気軽に御相談ください。

■障害者短期入所事業(ショートステイ)

この事業は家庭で生活されている障害者の方や、その方を介護されている保護者が病気や冠婚葬祭、事故等によって一時的に介護ができない場合に高森寮で介護をお引き受けするものです。

理由別

- 社会的理由：疾病、出産、冠婚葬祭、学校等の公的行事参加など。
- 私的理由：旅行、休息、生活訓練(保護者宿泊可)など。

利用期間

原則七日以内(日曜日一定時間帯もありです)

※この事業は予約登録制となります。利用を希望される方は各町村交差点に当立課又は高森寮にお申し出ください。

●お問い合わせ先

高森寮

住所 阿蘇郡高森町色見八二二番地
TEL 〇九六七六二一七八〇
FAX 〇九六七六一二二六八

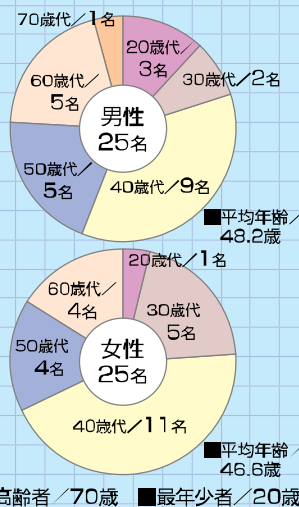
編集後記(ほほえみ会の声)

第1号「ほほえみ」をやっと発行できました。地域の方々に高森寮で生活している人たちの暮らしを知ってもらったことを願って編集しました。

寮に関わりのある地域の方々のコメントも載せてみました。色々とお協力ありがとうございました。第二号は十一月に予定しています。皆様方の御意見や質問等何時でもお寄せ下さい。スタッフ一同

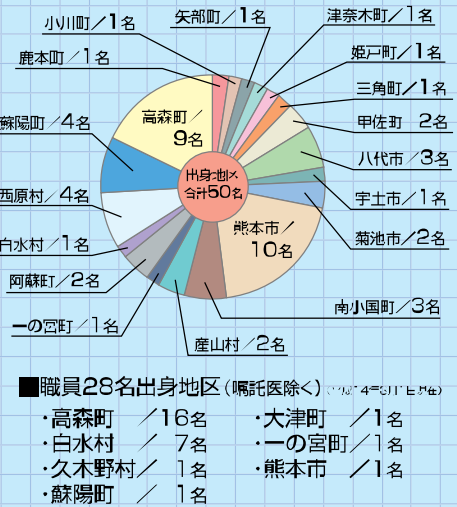
利用者の年齢階層

(平成14年11月現在)



利用者の出身地

(平成14年11月現在)



高森寮だより ほほえみ

編集 / 高森寮去来委員会 発行 / 高森寮

創刊号平成14年4月発行

〈住所〉熊本県阿蘇郡高森町色見822

TEL 09676-2-1780 FAX 09676-2-2368